

C-35 被服製図表現上の調査

東海大工学 吉田元 ○ 國士館大教育 中里喜子

目的 市販の型紙によるホームソーイングが行われ出て来た。被服製図の実状は、各々のお家流で研究された独自の表現方法を工夫しているが、なお機械・電気・建築製図などのように、世界に通用する図面作成上、表現の統一が必要と考えるので、現在行われている被服製図の表現方法の実態を調査した。

方法 最も新しい資料として、1971~2年にかけて使用されている教科書等の中から、婦人服20種、男子服40種について、次の項目に分類して調査した。

- | | | | |
|--------------|---------------|-----------|------------|
| 1. 尺度 | ㉒ 見返し線 | ㉔ 地の目 | ㉖ 型紙と繞けて裁つ |
| 2. 文字 | ㉑ 想像線 | ㉓ 毛並み | ㉕ 片ひた |
| 3. 線 | ㉐ 中心線 | ㉔ バイヤス | ㉖ 箱ひた |
| 1) 線の形による種類 | ㉑ ステッチ線 | ㉓ 直角 | ㉕ タツク |
| 2) 線の太さによる種類 | ㉑ 寸法線、寸法補助線 | ㉓ ガーツ | ㉕ バスト・ポイント |
| 3) 線の用途による種類 | ㉑ 引出線 | ㉓ た、んで切南く | ㉕ ボタン穴 |
| ㉑ 仕より形状線(前後) | ㉑ 等分線 | ㉓ 芯地の線 | ㉕ ボタンの位置 |
| ㉑ わに裁つ線 | 14) ハツケンゲ | ㉓ 伸ばす | |
| ㉑ 返り線、折山線 | 4. 寸法単位と記入法 | ㉓ いせる | |
| ㉑ 案内線 | 5. 作図中に示す表示記号 | ㉑ 線の交差 | |

結果 調査資料としては、各流儀による製図法からみて、それぞれ意味を含む表現方法ではあったが、なおより以上合理的な方向を見出す結果が得られた。